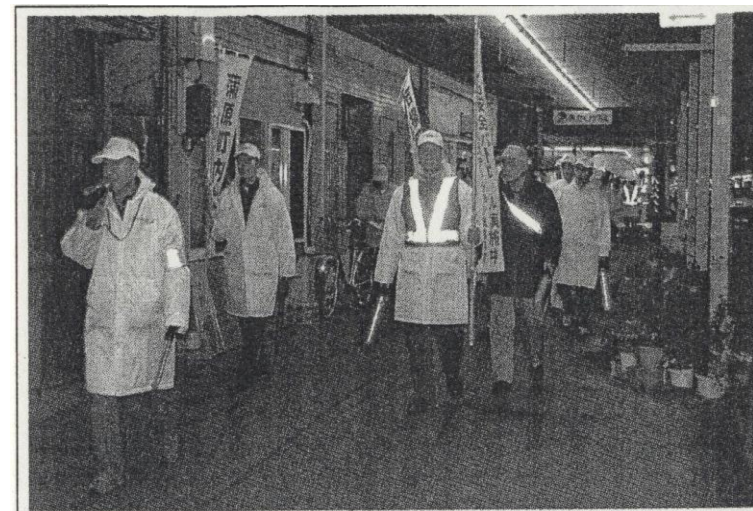


長嶺地域コミュニティ協議会だより

平成20年年12月9日 防火防犯パトロール

発行 長嶺地域コミュニティ協議会広報部 発行責任者 丹羽 仁(☎243-0318)

平成20年12月9日、長嶺地域コミュニティ協議会として初の防火防犯パトロールを実施しました。この日午後6時50分総勢70人は東出張所に集合し、午後7時から万代町とおりを挟んで、二地域に分かれてパトロールに入り、約1時間後流れ解散しました。



長嶺地域コミ協が「地域安全安心ステーション」事業地区に選ばれ初めてのパトロールをした＝新潟市中央区蒲原町

本年度の警察庁「地域安全安心ステーション」推進事業の実施地区に選ばれた新潟市中央区の長嶺地域コミュニティ協議会(コミ協)がこのほど、指定後初めてのパトロールを実施した。七十人ほどの住民や新潟東署の署員らが街を歩き「戸締まり用心 火の用心」と注意を呼び掛けた。同事業は、地域の自主的な防犯活動を活性化するために二〇〇五年度から実施。実施地区に指定されると、懐中電灯やジャンパーなどを無料で借りることが出来る。本年度までに、同市内では長嶺コミ協を含め三地区が指定されている。

出発式では、丹羽仁・同コミ協会長が「安全安心なまちづくりにまい進しましょう」と力強くあいさつ。同署生活安全課の斎藤康夫係長は「東署管内では今年、窃盗や車上狙いが増えている。鍵掛けなどを呼び掛けてほしい」と訴えた。

住民らは同事業で支給された黄色いジャンパーに身を包み、二班に分かれてパトロール。拍子木を打ちながら防犯を呼び掛け、空き巣の防ぎ方や防犯の基礎知識が書かれたチラシを各家のポストに配った。参加した社員男性(☎)は「少しでも防犯に役立てばいいです」と話した。

安全な地域住民一丸 防犯活動推進 警察庁が指定 長嶺コミ協が巡回

長嶺地域コミュニティ協議会 安心安全部会 防火防犯パトロール活動実施構成図

- ◇主催(担当) 長嶺地域コミュニティ協議会 安心安全部会
- ◇共催 新潟東警察署(交番)・中央消防署(沼垂出張所)・消防団・宮浦地区青少年育成協議会 万代長嶺小セーフティスタッフ・万代長嶺小PTA・長嶺地区防火連合会・婦人防火部 交通安全推進協議会・交通指導隊・自主防犯協議会他関係団体
- ◇活動実施時期 7月期 夏の強化パトロール
12月期 歳末強化パトロール
- ◇活動実施範囲 長嶺地域コミュニティ区域全域
- ◇活動実施内容 防火防犯パトロールのほか公共場所における迷惑行為(客引き禁止・ピンクびらはがし等)など
- ◇パトロール人員 1グループ概ね30人以上
- ◇集合場所 中央区役所東出張所前
- ◇活動実施ルート AブロックとBブロックに分かれてパトロールを実施
 - Aブロック 笹口第五 長嶺第一 長嶺第二 明石二丁目 明石公営住宅 蒲原町 西横町 各町内会・自治会
 - Bブロック 西片原一丁目 西片原二・三 稲荷町 古町三・四 他門 入船大門 古町一・二 加商 各町内会・自治会

防火・防犯パトロール実施後のコメント

- 天候の関係もあったかもしれないが、パトロール中に地域住民との出会いが少なかった。各町内にどの程度活動内容が浸透したかどうか疑問もあった。
 - 結構暗い場所もあった。(玄関の電灯をつけていない家もある。)
 - パトロールするブロックを一部入れ替え(人)を、あまり知らない地域をパトロールすることも良い経験になるのではないかな。
 - 流れ解散でパトロールを終了したが、出発場所に戻った上で解散するの形にしたら良いのではないかとの声があった。
 - 今回は初めての防火防犯パトロールであったが、回を重ねることによって、地域住民の皆さんに「安全安心な町づくり」の意識を持ち且高めてもらうよう、今後も活動を続けていく必要があると思った。
- 将来は安心安全部員(セーフティスタッフ)だけでなく、一般住民が気楽にパトロールに参加できるようにしてゆきたいと思う。

